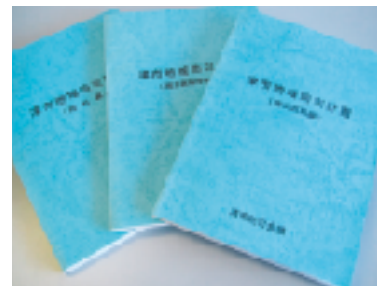


市民の命を守る

防災対策の更なる強化

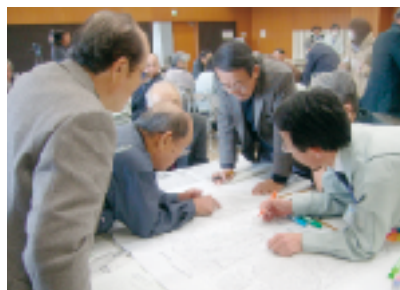
- 海岸整備事業を促進します
- 平成24年度、25年度を「災害対応力強化集中年間」と定め、地域における災害対応力の強化を図ります
- 津波避難対策を推進します
- 地震や風水害への対応を含め、津市地域防災計画の徹底見直しを行います
- 消防力の強化を図ります



津市地域防災計画

【具体的な取り組み】

- 自主防災組織の活動を支援するための自主防災活動活性化事業の実施
- 地域における津波避難計画の作成支援
- 避難所標識への海拔表示や避難誘導表示の整備



津市自主防災組織リーダー研修会(3月)

- 孤立対策用災害備蓄品配備事業の実施
- 移動系の防災情報通信システムの整備
- 香良洲地域の香

海中学校の屋内運動場屋上を一時避難先として活用するため、外付階段やフェンスを設置

- 危機管理部危機管理課および防災室に、2年間限定で特命担当を配置し、人員体制を充実など

救急医療対策

- 津市救急・健康相談ダイヤル24の実施と、取り組み効果の検証に努めます
- 地域医療や総合診療体制に関する三重大学の教育・研究への支援を通じ、初期救急医療体制の充実に努めます
- 二次救急医療体制の在り方について、引き続き、医療関係者などと協議を行い、検討していきます



救急医療



努力を積み重ねることであり、それが「対話と連携」の実践です。これまで実施してきた地域の皆さまとの懇談会などに加え、新たに市民部市民交流課に対話連携推進室を設置し、職員一丸となって、市政の課題に係る市民の声を的確に把握し、各種施策として着実に実現するよう努めていきます。

将来を見据えたまちづくりとしては、屋内総合スポーツ施設などの総合計画に位置付けられたプロジェクトの推進とともに、防災対策の強化、児童・高齢者福祉対策などの市民生活に係る喫緊の課題に的確に対応していきます。

地方自治体を取り巻く環境も時代の変遷とともに変わっていきます。先行きが見通せない不透明な状況であるからこそ、市民主導の市政を、「ぶれず、浮かれず、堅実に、そして、立ち止まることなく」推進し、まちづくりを着実に進めていく決意です。